

# テンプレート新興国小型株ファンド

## 愛称：ライジング・フォース

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年8月21日～2019年8月20日

第 2 期 決算日：2019年8月20日

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
当ファンドは、円建ての投資信託証券への投資を通じて、新興国小型株式等を高位に組み入れる運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。  
当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

#### 第 2 期末 (2019年8月20日)

基準価額	8,821 円
純資産総額	5,594 百万円
騰落率	-9.3 %
分配金合計 <sup>(*)</sup>	0 円

(\*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。


閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufg.jp/>

[ファンド検索] に  
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで  
閲覧およびダウンロード

 **MUFG** 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

#### ■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

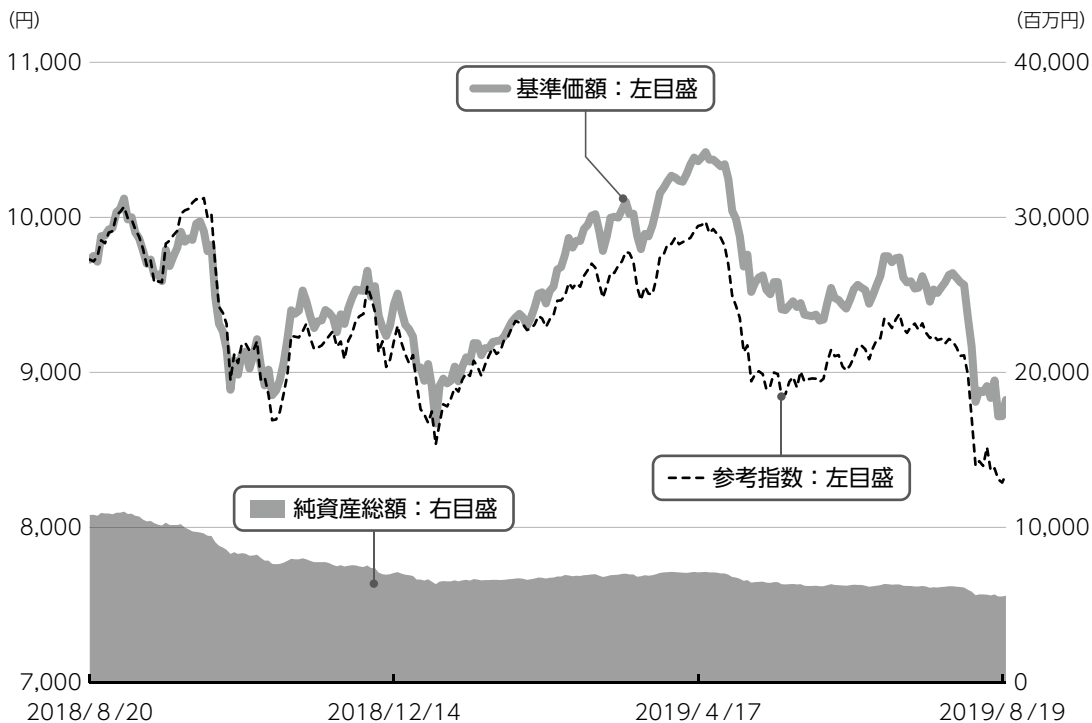
お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

# 運用経過

第2期：2018年8月21日～2019年8月20日

## ▶ 当期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第2期首	9,727円
第2期末	8,821円
既払分配金	0円
騰落率	-9.3%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

### 基準価額の動き

基準価額は期首に比べ9.3%の下落となりました。

## 基準価額の主な変動要因

### 下落要因

韓国ウォン、インドルピーなどの新興国通貨が対円で下落したことに加え、米中貿易摩擦に対する懸念の高まりや世界的な景気減速懸念などを背景に保有している新興国小型株式が下落したことや、保有銘柄（APOLLO TYRES LTD、MEDY-TOX INCなど）が下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

※参考指数は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年8月21日～2019年8月20日

▶ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	184	1.926	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
( 投 信 会 社 )	(103)	(1.082)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
( 販 売 会 社 )	(77)	(0.811)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
( 受 託 会 社 )	(3)	(0.032)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
( そ の 他 )	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	184	1.929	

期中の平均基準価額は、9,544円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

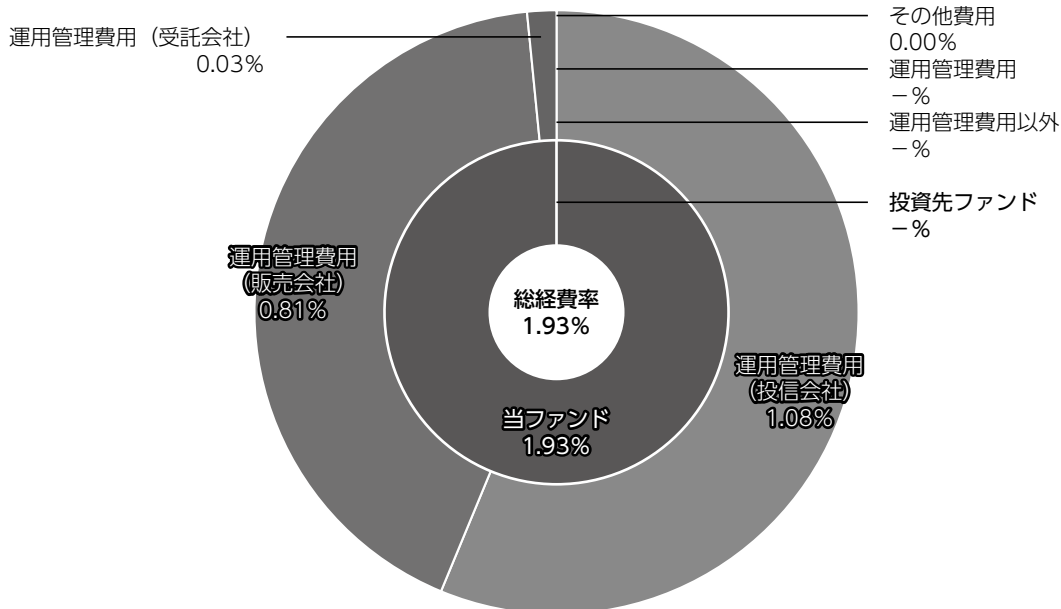
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入れ上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.93%**です。



総経費率 (①+②+③)	(%)	1.93
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.93
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	(%)	－
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	(%)	－

(注) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年8月20日～2019年8月20日

最近5年間の基準価額等の推移について



※参考指数は、設定時の値を基準価額と同一となるように指数化しています。  
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

					2018/8/20 期初	2019/8/20 決算日
基準価額	(円)	-	-	-	9,727	8,821
期間分配金合計 (税込み)	(円)	-	-	-	-	0
基準価額騰落率	(%)	-	-	-	-	-9.3
参考指数騰落率	(%)	-	-	-	-	-14.2
純資産総額	(百万円)	-	-	-	10,792	5,594

※騰落率および期間分配金合計については、年間の値を表示しており、期間が1年に達していない場合には表示していません。

参考指数は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (配当込み、円ベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第2期：2018年8月21日～2019年8月20日

## 投資環境について

### ▶ 株式市況

**新興国株式市況（米ドル建て）は下落しました。**

期首から2018年10月にかけては、米長期金利上昇と米中貿易摩擦への懸念などから下落しました。11月から2019年4月にかけては、米中通商協議の進展や、米連邦準備制度理事会（F R B）が追加利上げに慎重な姿勢を示したことなどから上昇しました。その後は、米中貿易摩擦に対する懸念の高まりや、世界的な景気減速懸念などを背景に下落しました。

### ▶ 為替市況

期首に比べ韓国ウォン、インドルピーなどが対円で下落しました。

### ▶ 国内短期金融市場

**無担保コール翌日物金利は0%を下回る水準で推移しました。**

当期の短期金融市場をみると、日銀は長短金利を操作目標として金融市場調整を行いました。コール・レート（無担保・翌日物）はマイナス圏で推移し、2019年8月20日のコール・レートは-0.059%となりました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ テンプレトン新興国小型株ファンド

ルクセンブルグ籍の外国投資法人であるフランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）J P Y）への投資を通じて、新興国小型株式等を高位に組み入れる運用を行いました。また、マネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を一部組み入れた運用を行いました。

### ▶ フランクリン・テンプレトン・インベストメント・ファンズ-テンプレトン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）

長期的に新興国市場の堅調な成長から恩恵を受ける新興国の小型株式に投資を継続しました。

新興国株式市場のけん引役はテクノロジーと消費であると考え、技術革新の進展と消費拡大からの恩恵を享受すると考えられる銘柄を選別して投資を継続しました。

▶ マネー・マーケット・マザーファンド

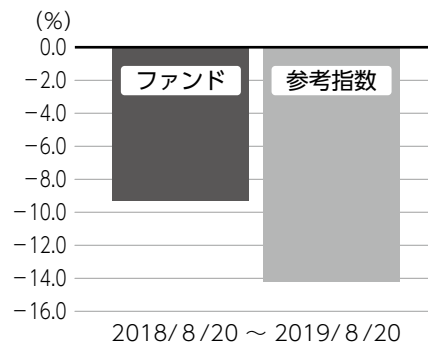
コール・ローン等短期金融商品を活用し、  
 利子等収益の確保を図りました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はMSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス（配当込み、円ベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第2期
	2018年8月21日～2019年8月20日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-）%
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	0

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。



## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

- ▶ **テンプレートン新興国小型株ファンド**  
ルクセンブルグ籍の外国投資法人である  
フランクリン・テンプレートン・インベ  
ストメント・ファンズーテンプレートン・エ  
マージング・マーケット・スモラー・  
カンパニーズ・ファンドの円建ての投資  
信託証券（クラスY（Y d i s）J P  
Y）および証券投資信託であるマネー・  
マーケット・マザーファンドへの投資を  
行います。
  
- ▶ **マネー・マーケット・マザーファンド**  
物価は緩やかに上昇していくと予想して  
いますが、日銀の物価目標である2%に  
は届かないと思われます。したがって、  
今後も金融緩和政策が継続すると想定さ  
れることから、短期金利は低位で推移す  
ると予想しています。以上の見通しによ  
り、コール・ローンおよびCP現先取引等  
への投資を通じて、安定した収益の確保  
をめざした運用を行う方針です。
  
- ▶ **フランクリン・テンプレートン・イン  
ベストメント・ファンズーテンプレ  
ートン・エマージング・マーケット・  
スモラー・カンパニーズ・ファン  
ド（クラスY（Y d i s）J P Y）**  
米中貿易摩擦の深刻化などのリスクに注  
意する必要があると考えるものの、新興  
国のマクロ経済が概ね健全な状態を維持  
しているため新興国株式投資については  
楽観的な見通しを持っています。  
しかし、米中の緊張状態が短期的に収束  
する可能性は低いとみており、株式市況  
の変動性は高まると考えています。  
このような状況の下、当ファンドでは、  
バリュー投資プロセスを続け、長期的に  
新興国市場の堅調な成長から恩恵を受け  
る小型株式に投資していく方針です。

# お知らせ

## ▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

## ▶ その他

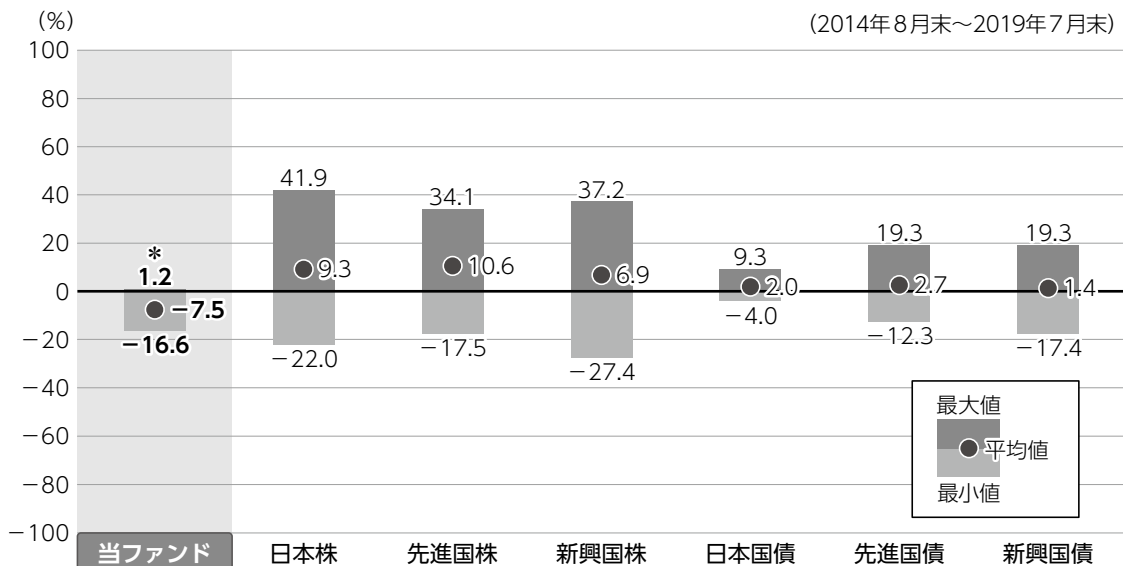
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

\*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）にて開示を行っている場合があります。

# 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2027年8月20日まで（2017年8月31日設定）
運用方針	外国投資法人であるフランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンドの円建ての投資信託証券（クラスY（Y d i s）J P Y）への投資を通じて、主として新興国の小型株式等（預託証券を含みます。）に投資を行います。なお、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券への投資も行います。外国投資法人の投資信託証券への投資は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）およびマネー・マーケット・マザーファンドの投資信託証券を主要投資対象とします。</p> <p>■フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s）J P Y）</p> <p>新興国の株式等（預託証券を含みます。以下同じ。）に投資を行います。新興国の株式等のうち、主として新興国で登記されている小型企業の株式等へ投資を行います。また、事業活動の中心が新興国である小型企業の株式等や、新興国で登記されている小型企業への出資を通じて実質的に主な事業活動を新興国にて行う小型持株会社の株式等にも投資をする場合があります。</p> <p>■マネー・マーケット・マザーファンド</p> <p>わが国の公社債等を主要投資対象とします。 外貨建資産への投資は行いません。</p>
運用方法	新興国の株式等を実質的な主要投資対象とし、主として中長期的な値上がり益の獲得をめざします。
分配方針	<p>経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>

# ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年8月から2019年7月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

\*ファンドについては2018年8月～2019年7月の同様の騰落率を表示したものです。

## 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

# 当該投資信託のデータ

2019年8月20日現在

## ▶ 当該投資信託の組入資産の内容

### 組入ファンド

(組入銘柄数：2銘柄)

ファンド名	第2期末 2019年8月20日
フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマージング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド (クラスY (Y d i s) J P Y)	99.2%
マネー・マーケット・マザーファンド	0.0%

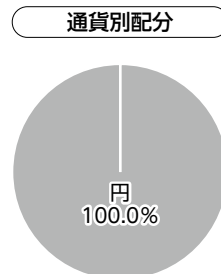
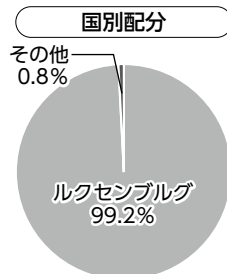
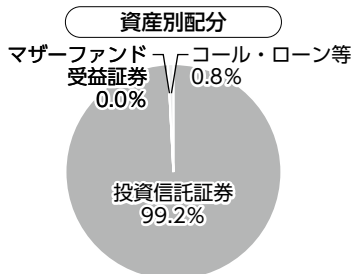
※比率は当ファンドの純資産総額に対する各投資信託証券の評価額の割合です。

### 純資産等

項 目	第2期末 2019年8月20日
純資産総額 (円)	5,594,289,747
受益権口数 (口)	6,342,137,847
1万口当たり基準価額 (円)	8,821

※当期中において追加設定元本は393,594,494円  
同解約元本は5,146,524,128円です。

### 種別構成等



※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】、【通貨別配分】は、組入ファンドの発行国、発行通貨を表示しています。

2018年6月30日現在

組入上位ファンドの概要

▶ フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド（クラスY（Y d i s） J P Y）

基準価額の推移

2017年7月31日～2018年6月30日



基準価額の推移以外の開示情報につきましては、クラス分けされたものがないため、「フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド」ベースで表示しています。

1万口当たりの費用明細

2017年7月31日～2018年6月30日

ファンドが投資対象とする投資信託証券では運用管理費用（信託報酬）はありません。

※上記には、分配金が含まれていません。

▶ フランクリン・テンプレートン・インベストメント・ファンズーテンプレートン・エマーシング・マーケット・スモラー・カンパニーズ・ファンド

組入上位10銘柄

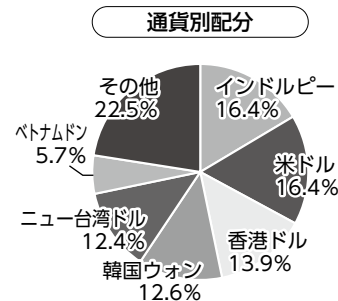
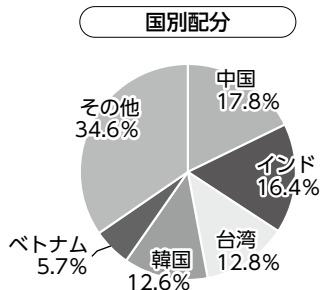
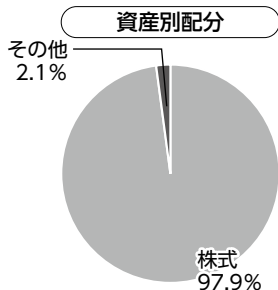
（組入銘柄数：128銘柄）

	銘柄	種類	国	比率(%)
1	BAJAJ HOLDINGS & INVESTMENT LTD	株式	インド	3.9
2	BAOZUN INC	株式	中国	3.6
3	FILA KOREA LTD	株式	韓国	2.8
4	APOLLO TYRES LTD	株式	インド	2.8
5	HOA PHAT GROUP JSC	株式	ベトナム	2.6
6	MEDY-TOX INC	株式	韓国	2.2
7	IMAX CORP	株式	米国	1.9
8	CHINASOFT INTERNATIONAL LTD	株式	中国	1.9
9	TATA CHEMICALS LTD	株式	インド	1.7
10	PRIMAX ELECTRONICS LTD	株式	台湾	1.6

※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

### 種別構成等



※比率はマスターファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

968469

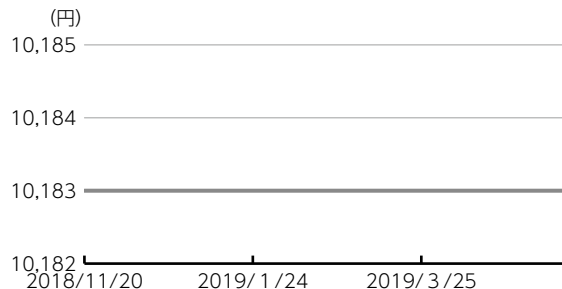
2019年5月20日現在

組入上位ファンドの概要

マネー・マーケット・マザーファンド

基準価額の推移

2018年11月20日～2019年5月20日



1万口当たりの費用明細

2018年11月21日～2019年5月20日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,183円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

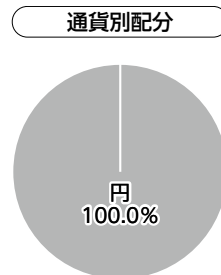
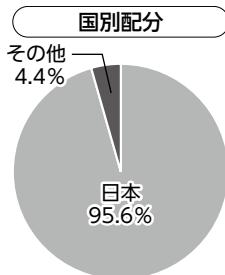
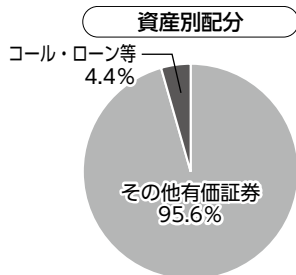
(組入銘柄数：1銘柄)

	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	イオンプロダクト 190521	その他有価証券	日本	コマーシャル・ペーパー	95.6
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

※なお、その他有価証券以外の全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。  
 ※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの  
 余裕資金等と合せて運用しているものを含まます。



# 指数に関して

## ▶ ファンドの参考指数である『MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (配当込み、円ベース)』について

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国の小型株式で構成されています。

MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI エマージング・マーケット・スモール・キャップ インデックス (ネット配当込み、米ドルベース) をもとに、委託会社が計算したものです。また、同指数に対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

## ▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

### ● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

### ● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村証券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ● JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPMorganGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信